平成 27 年度　幹線鉄道旅客流動実態調査について

1. 調査の目的

全国の新幹線や幹線鉄道の特急列車等を利用した旅客の流動等を調査し、需要予測モデルの構築と予測、費用便益分析等の交通政策や交通施設整備計画など、今後の幹線鉄道に関する政策の分析・検討に資するとともに、陸・海・空にわたる総合的な交通体系の整備を進める上で重要な全国旅客純流動調査にも資する基礎資料として、様々な視点からの幹線旅客流動の実態を明らかにすることを目的としています。

2. 調査の概要

■調査の沿革

平成２２年度より、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 19 条に基づく一般統計調査として、実施しています。

■調査の根拠法令

統計法（平成 19 年法律第 53 号）

■調査の対象

［１］調査対象の範囲

ア）地域的範囲

全国

イ）属性的範囲

新幹線や幹線鉄道の特急列車等の利用客

［２］報告を求める者

平日・休日 各 28.4 万人 （母集団の数は平日約 62.2 万人、休日約 81.2 万人）

■抽出方法

［１］目標獲得サンプル数の算出

本調査は都道府県間の流動量の平均的な信頼性として、信頼水準 95%、相対誤差 20%を確保することを目標値として設定しています。前回調査（H22 年度調査）の結果から、目標値を達成するための目標獲得サンプル数を下記の式により設定しています。

目標獲得サンプル数＝前回の獲得サンプル数×（前回の相対誤差／今回目標とする相対誤差）^{2}

［２］調査対象列車の選定について

（１）調査対象列車選定基準

１）新幹線及び特急列車の選定基準

原則として夜行列車を除くすべての新幹線及び JR 特急列車を対象としますが、中長距

離旅客を中心とした旅客流動の大層を掴む観点から、下記のような特急は除いています。

ア） 運行区間が同一県内に限られる列車系統

イ） 通勤対応列車

２）急行列車等の選定基準

急行列車、快速列車等の特急列車以外の速達型の列車（以下、急行列車等）については、特急列車並の役割を担っている可能性がある下記特徴を満たす列車グループを選定しています。

ア） 運行本数が比較的多く（1 日 5 往復以上）運行区間が県外にわたる列車グループ

イ） 通勤対応ではない列車グループ

ウ） 夜行ではない列車グループ

エ） 愛称名のある列車グループ

３）私鉄特急列車の選定基準

中長距離旅客を中心とした旅客流動を把握するという本調査の目的及び限られた予算の中で 必要な精度を確保する必要があるという状況を鑑み、都市圏内輸送を中心とする私鉄は原則として調査対象としておりません。 ただし、県間を跨ぐ長距離旅客が比較的多く利用すると思われ、JR との比較をする観点から注目すべき列車を調査対象として追加しています。

■調査事項

・旅行者の属性（国籍、住所、性別、年齢、職業）
・旅行目的
・宿泊の有無
・旅行行程（片道の出発地、乗降・乗り換え駅、到着地）
・旅行中立ち寄った地の有無
・旅行人数
・きっぷの種類

■調査の時期

休日：平成２７年１０月１８日
平日：平成２７年１０月２１日

■調査の方法

［１］実施系統

国土交通省―民間事業者―報告者

［２］調査方法

調査員が、旅客に対し車内で調査票を配布・回収しています。

一般統計調査

政府統計

幹線旅客流動実態調査

幹線鉄道旅客流動実態調査　調査票

Survey of Inter-city Rail Passengers

国土交通省

国土交通省では、**今後の交通政策の分析・検討等を行うため**に、幹線鉄道旅客流動実態調査を実施しております。皆様のご協力をお願いいたします。用紙は後ほど調査員が回収にうかがいます。いただいたデータについては、統計的に処理いたしますので皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

〈 記入上のご注意 〉

◎**ご家族（現住所が同一の方）で旅行されている方**：どなたか**代表者の方１名**がご回答下さい。
◎**日帰り旅行の帰りの方**：行きの列車で既にご回答頂いた場合でも、この調査で帰りの行程についてご回答下さい。
◎**現在の行程で既に他の列車でご回答頂いた方**：ご記入は不要です。
◎回答は　　の部分（回答欄）にご記入下さい。

This questionnaire is part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism **TO REVIEW FUTURE JAPANESE TRANSPORT POLICY.** The information will not be used for any other purpose. Thank you for your cooperation.

〈 INSTRUCTIONS 〉

◎**ONLY ONE RESPONSE PER FAMILY GROUP FROM THE SAME RESIDENCE, PLEASE.**
◎If you cannot read Japanese, **PLEASE ANSWER THE QUESTIONS(Q1,Q2,Q3) ONLY.**
◎Please complete this questionnaire by **CHECKING THE NUMBERS** or **WRITING IN THE ANSWERS.**

問1. 現住所についてお答え下さい。
Q1. What is your CURRENT ADDRESS?

《日本にお住まいの方 FOR JAPAN RESIDENTS ONLY》

現住所 Address	都・道府・県 Prefecture	区・市郡 City/District	区・町村 Ward/Town/Village

《日本以外にお住まいの方 FOR NON-JAPAN RESIDENTS ONLY》

お住まいの国 Country of Residence		お住まいの国と国籍は同じですか？ Are your country and nationality the same?	1.はい Yes / 2.いいえ No →	国籍 Nationality

問2. 旅行の主な目的をお答え下さい。
Q2. What is the MAIN purpose of today's trip?

1. 仕事（または仕事の帰り） Business	2. 観光※1（または観光の帰り） Sightseeing/Recreation/Shopping	3. 私用・帰省※2（または私用・帰省の帰り） Visiting friends or relatives	4. 通勤・通学（または通勤・通学の帰り） Commute	5. その他 Other

※1　観光には、温泉、街歩き、ショッピング、イベント参加、コンサート・演劇鑑賞・美術展、レクレーションとしてのスポーツ活動・観戦、体験学習を含む。
※2　私用・帰省には、親類や友人宅への訪問、冠婚葬祭等への出席、介護のための帰省を含む。

問3. 同行者についてお答え下さい。
Q3. Tell us about your travel party, please.

本日のご旅行者は、あなたを含めて何人ですか？ How many people are in YOUR TRAVEL PARTY today? (Including yourself)		人 Persons
そのうち、ご家族(現住所が同一の方)は、あなたを含めて何人ですか？ How many of the above are family group from THE SAME RESIDENCE? (Including yourself)		人 Persons

Thank you for completing this questionnaire. Please return it to the person who provided it to you.
WE HOPE YOUR TRIP WAS OR WILL BE AN ENJOYABLE ONE.

問4. あなたご自身と同行されているご家族（現住所が同一の方）についてお答え下さい。

	選択肢	記入例	ご本人	家族 1	家族 2	家族 3	家族 4	家族 5
性別	1. 男　2. 女	1						
年齢	1. 14 歳以下　2. 15～19 歳　3. 20～24 歳　4. 25～29 歳 5. 30～34 歳　6. 35～39 歳　7. 40～44 歳　8. 45～49 歳 9. 50～54 歳　10. 55～59 歳　11. 60～64 歳　12. 65～69 歳 13. 70～74 歳　14. 75～79 歳　15. 80 歳以上	7						
職業	1. 役員・管理職員（管理的職業）　2. 専門・技術・事務関係職業 3. 販売・サービス関係職業　4. 農林漁業関係職業 5. 生産・運輸関係職業　6. その他の職業 7. 小学生未満（児童・園児など）　8. 小学生　9. 中学生 10. 高校生以上　11. 主婦・主夫（職業従事者を除く）	2						

問5. 旅行日数をお答え下さい。

1. 日帰り　　2. 宿泊を伴う旅行 → 全体日数[　　]泊[　　]日　　本日の行程[　　]日目

裏面もご記入下さい

問6. 本日の行程をお答え下さい。（日帰りの方は現在の片道の行程だけをお答え下さい。）

出発地

本日の出発地をご記入下さい。
（日帰りの方は現在の到着地に向けた片道の行程における出発地）

1. 現住所　2. その他…　［　］※1都・道府・県　［　］※2区・市郡　［　］区・町村

※1･･･海外からお帰りの方または海外へお出かけの方は、国名をご記入下さい。
※2･･･市区町村名が分らない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。

出発地から最初の鉄道駅までの交通機関をご利用の順に□内に番号をご記入下さい。

本日の出発地　→　□　→　□　→　□　→　最初の鉄道駅

1. 徒歩・自転車等	2. 乗用車（送迎）	3. 乗用車（駐車場利用）	4. タクシー・ハイヤー
5. レンタカー	6. 市内バス	7. 高速バス	8. 貸切バス・観光バス
9. 航空機	10. フェリー/旅客船	11. その他	

最初の鉄道駅

［　］駅

①の駅までに乗換えた場合

［　］駅 → ［　］駅 → ［　］駅 → ［　］駅 → ①の乗車駅

特急利用区間※3 ⇒ □ □ □ □

この列車の乗車駅 ①

［　］駅

※3･･･当該駅間で特急列車（新幹線含む）にご乗車の場合は、特急利用区間欄に ✔ でチェックして下さい。

②の駅から最後の鉄道駅に至るまでに乗換える場合

［　］駅 → ［　］駅 → ［　］駅 → ［　］駅 → 最後の鉄道駅

特急利用区間※3 ⇒ □ □ □ □

この列車の降車駅 ②

［　］駅

※3･･･当該駅間で特急列車（新幹線含む）にご乗車の場合は、特急利用区間欄に ✔ でチェックして下さい。

最後の鉄道駅

最後の鉄道駅から到着地までの交通機関をご利用の順に□内に番号でご記入下さい。

最後の鉄道駅　→　□　→　□　→　□　→　到着地

1. 徒歩・自転車等	2. 乗用車（送迎）	3. 乗用車（駐車場利用）	4. タクシー・ハイヤー
5. レンタカー	6. 市内バス	7. 高速バス	8. 貸切バス・観光バス
9. 航空機	10. フェリー/旅客船	11. その他	

到着地

本日の到着地をご記入下さい。

1. 現住所　2. その他…　［　］※1都・道府・県　［　］※2区・市郡　［　］区・町村

※1･･･海外からお帰りの方または海外へお出かけの方は、国名をご記入下さい。
※2･･･市区町村名が分らない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。

問7. 前記（問6）の行程の中で、主な立寄先があればお答え下さい。

（主な立寄先）　［　］都・道府・県　［　］※区・市郡　［　］区・町村

※ 市区町村名がわからない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。

問8. ご利用券の種類をお答え下さい（各種ICカードの利用を含む）。
また、インターネットで予約されましたか？それぞれ該当する番号に○をひとつお付け下さい。

1. 通常運賃	2. 回数券※1	3. 往復割引※2	4. 団体割引
5. 早特割引※2	6. 通勤定期※3	7. 通学定期※3	8. フリーパス
9. パック旅行，宿泊料金と同時購入※4			

インターネット予約ですか？
1. はい
2. いいえ

※1. 新幹線回数券、○枚きっぷ、㊎マーク付回数券タイプを含みます。
※2. ㊎マーク付タイプを含みます。
※3. 新幹線・特急・グリーン定期等を含みます。
※4. 契 マーク等を含みます。

ご協力ありがとうございました。
ご回答頂いた調査票は調査員にお渡し下さい。

国土交通省

集計・算出方法

○　集計項目について

報告者から回答された調査票は民間事業者がとりまとめます。民間事業者は回答された調査票内容の検査を行ったのち、平日１日及び休日１日の調査結果を拡大処理し、以下の集計項目ごとに当日拡大値や平休年拡大値を算出します。

１　流動に関する集計
- １－１　片道・往復別都道府県間相互発着表
  - １－１－１　当日拡大値・平日
  - １－１－２　当日拡大値・休日
  - １－１－３　平休年拡大値
- １－２　片道・往復別都道府県・３大都市圏間相互発着表
  - １－２－１　当日拡大値・平日
  - １－２－２　当日拡大値・休日
  - １－２－３　平休年拡大値
- １－３　片道・往復別都道府県間相互発着比較表
  - １－３－１　当日拡大値・休日／平日
  - １－３－２　平日拡大値・今回結果／前回結果
  - １－３－３　休日拡大値・今回結果／前回結果
- １－４　片道・往復別都道府県・３大都市圏間相互発着比較表
  - １－４－１　当日拡大値・休日／平日
  - １－４－２　平日拡大値・今回結果／前回結果
  - １－４－３　休日拡大値・今回結果／前回結果
- １－５　都道府県間発着人員密度分布図
  - １－５－１　平休年拡大値

２　個人属性、旅行目的等に関する集計（平日・休日・年別に作成）
- ２－１　単純集計
  - ２－１－１　居住地
  - ２－１－２　性別
  - ２－１－３　年齢
  - ２－１－４　職業
  - ２－１－５　旅行行程
- ２－２　日帰り・宿泊別旅行目的比率
- ２－３　旅行人数別日帰り・宿泊比率
- ２－４　出発地別アクセス交通機関比率
- ２－５　到着地別イグレス交通機関比率
- ２－６　日帰り・宿泊別男女別比率
- ２－７　日帰り・宿泊別年齢階層別比率
- ２－８　日帰り・宿泊別職業別比率
- ２－９　使用券種比率
  - ２－９－１　日帰り・宿泊別
  - ２－９－２　旅行目的別

（参考）

当日拡大値	１日交通量に合うように拡大した値
平休年拡大値	平成１７年度の調査から平日１日、休日１日の２日間調査を行っており、当日拡大値を年間の平日日数及び休日日数を考慮して年間交通量に合うように拡大した値
平日年拡大値	平成１２年度の調査までは平日１日のみ調査を行っており、それらとの経年比較のために作成するものであり、平日拡大値を年間交通量に合うように拡大した値 平成２７年度調査以降、当該拡大値を用いた集計は廃止

○　拡大値の算出方法について

１）サンプルの当日拡大

得られたサンプルを当日の交通量に合わせるため、列車グループごとに平日・休日別、上り・下り別に「当日拡大値」を算出

２）当日拡大サンプルの乗継補正

上記で拡大したサンプルのうち、乗継駅で乗り継ぐ降車客数と乗車客数を合わせるため、降車客数を補正する「乗込み補正係数」と、乗車客数を補正する「乗出し補正係数」を算出・補正

３）乗継客数補正サンプルの再拡大

上記補正による当日拡大値と当日交通量に乖離が生じるため「当日拡大値」を再算出

４）発着逆転トリップの生成

発着を逆転したトリップを生成し、「当日拡大値」を１／２に減じ、平日１日平均流動、休日１日平均流動を算出

５）「１日平均流動」の算出

平日１日平均流動、休日１日平均流動を年間の平日・休日日数を重みとする加重平均値として「１日平均流動」を算出

$$１日平均流動＝\frac{平日１日平均流動×平日日数＋休日１日平均流動×休日日数}{年間日数}$$

６）年間拡大

年間交通量と「１日平均流動」との比により「平休年拡大値」を算出

７）特急利用回数による補正

特急列車を乗り継いでいる場合、旅客流動の重複計上を回避するため、特急利用回数で除した「当日拡大値（特急利用回数調整あり）」「平休年拡大値（特急利用回数調整あり）」を算出

用語の解説

● 純流動（Linked Trip）

交通機関の乗り継ぎ状況によらず、実際の出発地から目的地まで（目的に着目した）の移動（流動）を純流動といいます。

なお、交通機関毎の人の移動（流動）は、総流動（Unlinked Trip）といいます。

● 最終アクセス交通機関

端末交通機関乗り継ぎにおいて、出発地側から幹線交通機関に乗るまでの交通機関をアクセス交通機関としています。本調査においては、幹線鉄道に乗車する直前に利用した交通機関のことを最終アクセス交通機関としています。

● 最初イグレス交通機関

端末交通機関乗り継ぎにおいて、幹線交通機関を降りた後に目的地までの交通機関をイグレス交通機関としています。本調査においては、幹線鉄道から降車した直後に利用した交通機関のことを最初イグレス交通機関としています。

● 目的区分

本調査では、「仕事」「観光・行楽・レジャー」「私用・帰省」「通勤・通学」「その他」の目的区分に分けています。それぞれの目的は以下の通りです。

仕事　：　業務での出張（本社や支店、取引先の訪問・視察・研修・コンベンション等への参加・講演や演奏会の開催や出演等）等、仕事目的での流動で、「仕事」の帰りも含みます。

観光・行楽・レジャー：　観光（名所・旧跡、催し物等を見る）、保養（温泉、家族・知人との交流等）、スポーツ・体験型レジャー（遊園地・ドライブ・釣り・写真等）目的での流動で、「観光・行楽・レジャー」の帰りも含みます。

私用・帰省　：　「観光・行楽・レジャー」以外の帰省及び私用（実家への帰省・親類や友人宅への訪問・結婚式や葬式等への出席・病人介護のための訪問等）目的での流動で、「私用・帰省」の帰りも含みます。

通勤・通学　：　通常の通勤（上記「仕事」に当てはまらない自らの勤務先への通勤）や通学での流動で、「通勤・通学」の帰りも含みます。

その他　：　上記以外の「その他」目的での流動で、「その他」の帰りも含みます。